

学校名 三郷市立瑞木小学校
所在地 埼玉県三郷市さつき平1-6-1
電話 048-957-1310

1 本校の概要

「本気、元気、夢いっぱい、挑戦し続ける瑞木小～自己に自信を持ち、自慢できることを増やす教育活動の推進～」を学校のテーマに掲げ、教育活動を展開している。

本校の児童は学習への意欲が高く、読書にも積極的に取り組んでいる。教育活動を通して児童に自信を持たせ、自己肯定感の高揚へつなげていくために、読書活動の充実として以下の取り組みを行っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 魅力的な読書活動を実践することで豊かな想像力、語彙力を養う。
- ・ 学校図書館を効果的に活用し情報活用能力を育成することで、自分の考えを表現する力を培う。

(2) 実践の概要

ア 校内子ども司書の取組

校内子ども司書ボランティアを立ち上げ、パネルシアター、エプロンシアター、POP づくり等の読書活動を行う。



イ 学校、家庭、地域との連携

保護者による季節にあった学校図書館の環境整備、隔週月曜日に地域のボランティアによる読み聞かせや語り部を行っている。

ウ 『言葉の力』（三郷市読書推進資料）の活用

全校で、1学期は群読、2学期は「論語」「春と秋の七草」「俳句」「枕草子」等の発達段階に即した暗唱チャレンジを行う。3学期は俳句作りを実施する。

エ 学級経営の充実

読書活動の基盤となる、互いのよさを認め合う人間関係づくりを行う。さらに「三郷市授業の心得」を指導することで落ち着いた学習環境づくりに取り組む。

オ 教科と関連させた情報活用能力の育成

担任・司書教諭・学校司書と連携した授業を行ったり、学校図書館で1年生の説明文づくりを行ったりするなど、情報の収集・教科の学習の場として学校図書館を活用している。



カ 瑞穂中学校との交流

児童生徒間の交流及び教職員の相互理解と小中の円滑な接続を行うための一助として、読み聞かせ等による交流を行っている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 校内子ども司書の活動を通じて、児童が自信を持ち、様々な行事に意欲的になった。さらに、「6年生になったら取り組みたい」という感想が寄せられるなど、他の学年の模範となった。
- ・ 司書教諭、学校司書、担任が連携することで授業の工夫が見られ、指導力の向上につながった。
- ・ 児童が活躍する場を意図的に設定し、見届けと評価を適切に実施することで、自信を持って取り組む児童の姿が見られるようになった。
- ・ 教科と関連させた図書館での授業や、異学年との交流を通じて、自己の思考を豊かにし、コミュニケーション能力を高めることができた。
- ・ 「多読、音読、家読」の奨励により、語彙力を豊かにし、自分の考えを適切に伝える表現力の育成につながった。

(2) 課題

- ・ 司書教諭の担当者が変わっても、学校図書館の取組が継続的にできるような組織体制の構築が必要である。
- ・ 子ども司書の実施運営に係る計画、予算等を整える必要がある。

(3) おわりに

児童に役割を与え、よりよい環境整備をすることで、児童が自信を持ち、力を発揮することができた。

今後も、読書活動の充実と情報活用能力の育成を目指し、家庭や地域と連携しながら、「本気、元気、夢いっぱい、挑戦し続ける」児童の育成を図っていく。